

新規就業者コースとは？

新規就業者コースは、これから新たに林業への就業を目指す方を対象に研修を行うもので、森林・林業についての基本的な知識や技術を習得し、森林での作業を安全に行うとともに、山村に活力を与える人材を育成することを目的としています。



募集概要

- ◆募集定員
10名程度
- ◆受講にかかる経費
受講料は無料。ただし、テキスト、服装・装備、保険料、資格取得等にかかる費用は実費負担となります。
※ 詳しくは滋賀もりづくりアカデミー事務局にご確認ください。
- ◆応募資格
申込時点での年齢が50歳未満で、林業への就業の意志のある方
- ◆応募期間
前期 令和4年4月1日(金)～令和4年6月10日(金)
後期 令和4年7月1日(金)～令和4年9月9日(金)
- ◆研修期間
前期 令和4年7月1日(金)～令和4年12月27日(火)
後期 令和4年10月3日(月)～令和5年3月24日(金)



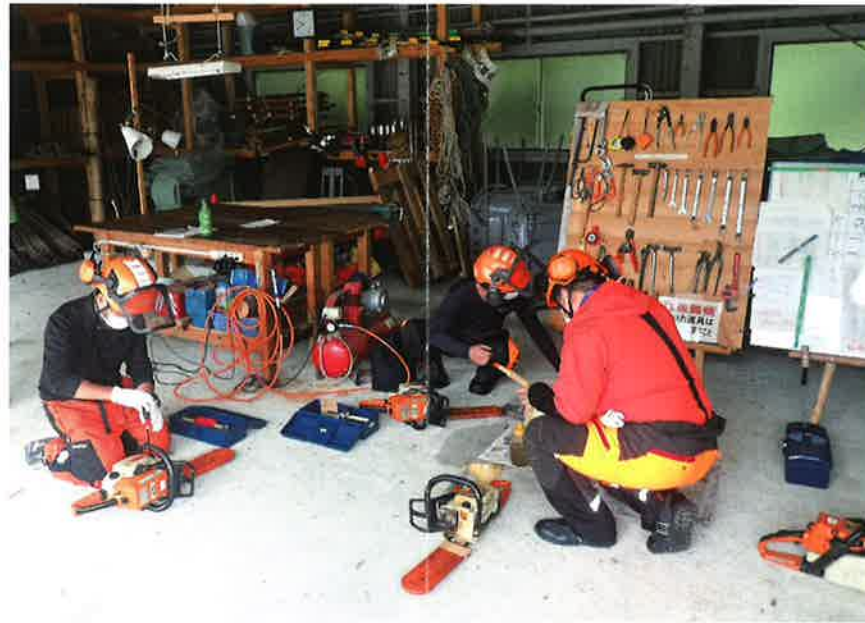
新規就業者コースで取得できる資格

- 新規就業者コースを受講すると次の資格が取得できます。
- ◆伐木等の業務にかかる特別教育
 - ◆刈払機作業の従事者安全衛生教育
 - ◆小型車両系建設機械特別教育(3トン未満)
 - ◆普通救命講習

研修内容

新規就業者コースは林業編、田舎暮らし編、林業インターン編から構成されています。

- ◆林業編
森林・林業に関する基本的な座学や演習のほか、チェーンソーやバックホウを使った基礎的な実習を行います。
※ 林業編の講座項目：労働安全、林業経営、造林、特用林産、機能保全、林業機械、林産、森林保護等
- ◆田舎暮らし編
地域に根ざした職業体験や田舎暮らしを実践し、多様な技術や暮らしの知恵を学ぶもので、①農業コース、②大工コース、③森林・山村コースから選択します。
- ◆林業インターン編
受入れ先(林業会社等)に受講生を派遣し、林業の現場において2ヶ月程度の職業体験を行います。



滋賀もりづくりアカデミーの4つの理念

- ◆『安全』～二度と悲劇を繰り返さないため、森林で働くすべての人に～
新たに林業に参入されるみなさんが「安心」して「安全」に作業ができる人づくりをめざします。
- ◆『効率』～林業の職場にも働き方改革の導入を～
これまでの経験を踏まえ、快適に作業ができる新たな技術や考え方をもった人づくりをめざします。
- ◆『活力』～バイタリティーをもった人づくりで「やま」を健康に～
山村で暮らし働くことで「やま」を健康にする、そんなバイタリティーを持った人づくりをめざします。
- ◆『改善』～アカデミーが変える！ 林業を変える人づくりを～
ICT等技術革新により、林業の世界が大きく変わろうとしています。だから、アカデミーで林業を変える人づくりをめざします。



就業支援

研修終了後の就業に関して、滋賀県林業労働力確保支援センター等の機関と連携し、就業相談などを行います。



藪内 岳さん(令和2年度修了)

びわこオーガニックファーム(株)

林業に興味を持ち、そのノウハウを身につけたいと滋賀もりづくりアカデミーに入り、工場見学、県職員の授業などあらゆる分野で林業という職種について教わりました。

安心、安全について授業で習った行動は、今後も徹底してゼロ災で取り組んでいきます。アカデミーで習ったことを基盤にして滋賀の山を変えていきたいです。



川村 奈々さん(令和2年度修了)

(株)志賀郷杜栄

滋賀もりづくりアカデミーでは林業にかかる広範囲の内容の講義を受けることができ、現場で作業する者だけでなく、事務職として林業に携わる者にとっても充実した内容だと思っています。

学んだことの多くを直接的にも間接的にも業務に取り入れることができ、キャリアアップに繋がりました。今後も、教えていただいたことを胸に励んでいけたらと思います。



小倉 知晃さん(令和3年度修了)

滋賀中央森林組合

林業について経験できる機会を得たいと思い、受講しました。

座学と課外視察では林業の見識を深めることができ、実技ではチェーンソーの使い方やバックホウの操作を納得がいくまで繰り返し練習させていただきました。

身に付けたことは田舎暮らし編で実践することができ、上手くいった時には成長を感じました。林業に触れるきっかけを与えてくれた滋賀もりづくりアカデミーには大変感謝しています。



國分 良高さん(令和3年度修了)

東近江市地域おこし協力隊員

私は初心者でしたが、チェーンソーや重機の扱いまで一通り学ぶことができたのが良かったです。講義も基本的なことから始まり学びやすいプログラムになっています。

広葉樹施業や架線集材については今後も自身で詳しく勉強したいと思います。

似たような境遇、価値観の人と知り合えたのも良かったです。これからも山に関わっていくのですが、アカデミーで学んだことをベースに取り組んでいきたいと思っています。

